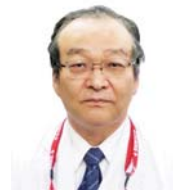


呼吸器内科紹介

— 当院の呼吸器内科診療について —



呼吸器内科 部長 久保 克仁

当科では現在常勤2名の医師が勤務し、入院及び外来診療を行っています。呼吸器内科で扱う疾患は肺癌をはじめとする胸部の腫瘍性疾患、気管支喘息、慢性腫瘍性疾患(COD)、肺感染症(肺結核の場合、排菌があれば専門施設で紹介)、種々原因による間質性肺疾患、気胸・膿胸等の胸膜疾患、縦隔疾患、睡眠時無呼吸症候群など多岐にわたっています。

また息切れ、呼吸困難、咳嗽、喀痰などの症状がある患者さん、健康診断や人間ドックの胸部X線検査で異常を指摘された患者さんに対応しています。放射線科、呼吸器外科とは緊密に連携して診療にあたっています。

肺癌

肺癌は悪性腫瘍の中で死亡率第1位(2013年人口10万対57.9)となっており、年々増加しています。画像診断、気管支鏡検査、組織診断後に肺癌治療ガイドラインに従って治療法を決定しています。

手術が適応であれば呼吸器外科で手術となり、放射線治療が適応の場合には放射線治療を、化学療法に適応があれば抗癌化学療法を行います。外来での化学療法が可能であれば外来化学療法室で行っています。

肺炎

肺炎は疾患別死亡率の第3位(2013年人口10万対97.8)で、高齢者の肺炎、特に誤嚥性肺炎が多くなっています。肺炎が改善し、嚥下リハビリテーションを続けても経口摂取が困難な場合も多く、胃瘻造設が必要となることもあります。

肺結核

肺結核が否定できない場合には陰圧個室に入室していただき、排菌がなけれ

ば一般病室に転室し、排菌があれば専門施設での隔離入院となります。

慢性閉塞性肺疾患(COPD)

COPDは20年以上の喫煙歴を経て発症する疾患であり、未だに喫煙率の高い日本では、今後さらに患者数と死亡数の増加(2013年人口10万対13.1、死因順位9位)が懸念されています。

診断および治療は日本呼吸器学会COPD診断と治療のためのガイドラインに従っています。入院の場合、全例呼吸リハビリテーションを行っています。

気管支喘息

気管支喘息は、全人口の3~4%で、喘息死は平成25年には全国で1,728人となっており年々減少しています。喘息予防・管理ガイドラインに従って診療を行っています。

ステロイド、 β_2 刺激薬、抗コリン薬の吸入指導は薬剤師により確実に吸入が可能となるまで行っており、導入後の再指導も適宜行っています。最近では吸入ステロイドの普及により、喘息による入院は少なくなっていますが、重症発作や重積状態の場合には入院治療になります。

間質性肺疾患

間質性肺疾患は、肺胞(直径0.1~0.2mmで、ぶどうの房状につながった空気の入った小さな袋)の壁に炎症を起こしたもので、原因の明らかなものと原因不明なもの(特発性間質性肺炎)があります。病歴、画像(HRCT)診断、血液検査(膠原病の血清検査等)、可能であれば気管支鏡による気管支肺胞洗浄を行います。結論の出ない場合には胸腔鏡下肺生検を行います。

特発性間質性肺炎のうち、特発性肺線維症以外の特発性間質性肺炎

は、生検により組織検査が必要になります。病型に応じてステロイドやピルフェニドンの薬物療法を行っています。

急性呼吸不全

急性呼吸不全状態の場合には、病状に応じて非侵襲的陽圧換気療法や気管挿管後、人工呼吸器による呼吸管理を行うことがあります。慢性呼吸不全状態となり、基準を満たせば(動脈血酸素分圧55torr以下、および動脈血酸素分圧55torr以下かつ睡眠時または運動負荷時に著しい低酸素血症をきたすもの)在宅酸素療法を行っています。

睡眠時無呼吸症候群

睡眠時無呼吸症候群が疑われる場合、簡易診断装置を家庭に持ち帰り一晩装着します。1時間当たり無呼吸低呼吸(AHI)が40回以上あれば鼻マスク式持続陽圧呼吸(CPAP)が適応になります。20回以上や、自覚症状(いびきや日中の居眠り)の強い場合には、1泊入院をしていただき、ポリソムノグラフィーを行い、AHIが20以上の場合にCPAPが適応となります。

呼吸器内科では、週1回のカンファレンスに医師、薬剤師、理学療法士、看護師が参加し、チーム医療を推進しています。

外来日は以下の通りです。呼吸器内科医が2名のため、外来にいない場合が多くなっておりご迷惑をおかけしています。外来にいない場合にも緊急時にはご連絡いただければ対応いたします。

本年4月からは呼吸器内科医が1名増員の予定です。よろしくお願いいたします。

呼吸器内科外来担当表

	月	火	水	木	金	*土
午前	竹内	久保	竹内	久保	—	第1週久保
午後	専門外来	◎竹内	—	—	△久保	

*土曜日外来…第1土曜日が祝日の場合は、第3土曜日に診療いたします。

◎…在宅酸素外来(予約制)

△…喘息外来(予約制)

前列左から2人目より
久保克仁医師、竹内悦子医師、
他、初期研修医、病棟看護師、
外来看護師、理学療法士、薬剤師

